

「目指すまちの姿」(現 釧路市総合計画からの抜粋)

2008 ~ 2017 KUSHIRO

環境・交流都市 釧路

基本構想

1 目指すまちの姿

本市が持っている魅力や可能性を引き出し、将来に希望を持てるまちづくりを進めていくため、目指すまちの姿を次のとおりとします。

(1) まちづくりの基本的な考え方

本市は、釧路湿原や阿寒湖をはじめ、広大な森林、太平洋など、多彩でかけがえのない自然に囲まれています。豊かな自然は、人々の暮らしに潤いを与え、豊かな心を育むとともに、その恵みにより様々な産業を育て、多くの観光客をひきつけています。

私たちは、この貴重な自然を守り続けるとともに、自然と調和した魅力と個性あふれるまちづくりを進めていきます。

また、本市は、北海道の中核都市の一つとして、産業経済、教育、文化、医療などの都市機能が集積するとともに、港湾、空港を核とした物流、交通の拠点となっています。このように、本市は生産都市であると同時に、国や地域を越えた「人・もの・情報の交流」により発展しています。

こうした特長をさらに伸ばし、新たな価値を創造することにより、活気と賑わいに満ちたまちづくりを進めていきます。

さらに、市民一人ひとりが安心して暮らしながら、様々な活動に才能を発揮できるまちづくりに、市民とともに取り組んでいきます。

(2) 将来都市像

こうしたまちづくりの基本的な考え方に基づき、本市の目指す都市像を、次のとおりとします。

●自然とまちの魅力が賑わいを創り 活力みなぎる●

環境・交流都市「釧路」

